

1.応募の動機・理由を簡単にご記入ください。

敦賀工業高校建築システム科では、自ら考え、行動し、地域を支える心ある技術者の育成を目指し、地域の方々と協働して、環境・エネルギーに配慮したものづくりを心掛け、実践している。

平成 22 年度より、敦賀市に隣接する南越前町今庄において、同地区の重要伝統的建造物群保存地区の指定を目指す NPO 法人今庄旅籠塾の方と協働で、江戸時代末期に建てられ、若狭屋の屋号をもつ旅籠だった町家の改修作業に、毎年夏休みに 10 名程の生徒が参加している。

多くの生徒が、住まいに関して受け継がれてきた技や知恵に感激し、地域の方の熱い思いに打たれ、建築を学ぶ工業高校生として、この活動を受け継ぎ、まちづくりに貢献してもらいたいと考え、地域の方や専門家の方からのアドバイスをいただきながら、1 年次に学習する軸測投影法を活かした今庄宿景観マップづくりに取り組むことを企画した。

2.学習予定の概要を以下の3点について記入してください。

(A中心となる活動, B授業の狙いと特徴, C学習の流れ(指導計画))

A中心となる活動

町並み見学会を踏まえて、各自が担当する町家を決定し、各町家を写真撮影するとともにその町家の幅、高さを実測し、実測に基づいて、軸測投影法により、立体的に作図する。

B授業の狙いと特徴

町家改修や景観マップづくりというヴァーチャルではなくリアルなものづくりを通して、今まで受け継がれてきた町家や町並みを後世に引き継いでいくために、これからのまちづくりを担う人材を育て、地域社会に貢献できるようにする。

C学習の流れ(指導計画)

町並み見学会

NPO 法人今庄旅籠塾から講師を招き、建築システム科1年生全員で今庄宿の町並みや平成 22 年度から改修している町家の見学を行う。このことを通じて、自分たちが住む町や現代の住宅との違いを体感する。

町家の実測並びに写真撮影

各町家を写真撮影するとともにその町家の幅、高さを実測する。

町家の作図

各町家を実測に基づいて、軸測投影法により、立体的に作図する。

景観マップづくり

分担して作図した各町家を合成し、立体的な景観マップづくりを行う。

校内発表会

NPO 法人今庄旅籠塾から講師を招き、発表会を行う。その際、作図表現(質感、点景など)が求めるイメージをどれだけ再現できているかどうか指摘を受け、修正の手掛かりにする。

今庄での発表会

NPO 法人今庄旅籠塾の月例会で修正した景観マップを披露する。今庄宿の重要伝統的建造物群保存地区への指定にむけ、景観マップをどのように活用することができるか、今まで受け継がれてきた町家や町並みを後世に引き継いでいくための方策(将来的に年版を重ね、町並みの変化が一目でわかるようにする等)について地元の方と共に考える。

3.今までに住まいやまちに関する学習を行ったことがありますか。

○1 ある                      2 ない

1の方は学習の内容について、ガイドラインの該当する領域に○をつけてください(複数可)

1 人と住まい

○2 住まいの空間と構成

3 住まいと社会

4 住まいと環境

その他特記事項がありましたらお書きください